

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和2年6月2日 ～ 令和3年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>IV. その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの学習の状況を的確に把握する方法及び個に応じた指導の在り方について ・入学希望既卒者受け入れによる、課題の整理と解決方法について ・日本語指導の充実の在り方について
調査研究のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 形式卒業者の受け入れにより、若年層や高校進学を希望する生徒の入学希望者が増えるなど、生徒の多様化が進みそれに伴って新たな課題も生じている。 また、希望者が増加したとは言え、まだまだ夜間学級に関する情報が行きわたっていないとは言えず、さらなる広報が必要である。 課題を整理し、解決方法について調査研究することにより、多様な生徒の受け入れ拡大を図るための環境整備につなげる。 ○ 外国にルーツをもつ生徒が全体の8割を占めており、また、生徒個々の日本語の習熟度や学習状況についても様々である。そこで、個々の生徒に応じた指導方法等について研究することにより、基礎・基本の定着を図り、生徒一人ひとりの日々の生活の質の向上を目指す。
調査研究の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進学希望など、個々のニーズに応じた学習支援の在り方について研究し、実践につなげた。また、生徒の実態把握や、カウンセリング等支援の在り方について校内研修を実施した。これらを通し、生徒支援体制の充実を図ることができた。 ○ 期間を通し、学習指導においては特に生徒一人ひとりの日本語能力の実態把握の方法及びその結果を基に日本語を読むこと、書くことの指導方法について調査研究し、基礎・基本の定着に向けた指導方法の確立に取り組んだ。 <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会議 『テーマ：個々の生徒の指導方法について。』 個々の生徒の指導方針を確認する。今年度、月1回奈良市からスクールソーシャルワーカーに来ていただくことになり、スクールソーシャルワーカーの活用の仕方についての検討を行った。 <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研修 『テーマ：夜間学級生徒への指導方法』 講師を招聘し、現在と過去の勤務経験から学んだ。学校の歴史、学習内容の変化等を振り返り、本学級の現状に照らした取組を考えた。 <p>【8月】</p>

・先進校視察 岡山市で開催される夜間中学校増設運動全国交流集会に参加予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止になった。

・校内研修 『日本語力を高めるための教材の工夫』
講師を招聘し、平和学習となるアニメビデオ教材を使って平和学習とともに日本語学習について研修した。

・校外研修 『自立援助ホームについて』
今年度自立援助ホームの生徒が入学したことで、今後さらに自立援助ホームからの入学生徒が出てくることが考えられるため、ホームを訪問し、施設の実態やそこでの活動の様子について研修した。

【9月】

・実態調査の実施

【10月】

・校内研修 『テーマ：実態調査の内容の分析』
個々の生徒の学習状況や進路希望などについて校内での情報共有を図った。高校進学希望生徒については、新たに指導計画の立案を行った。

【11月】

・校内研修 『テーマ：日本語の効果的な指導方法と評価方法について』
外部から講師を招き上記テーマについて研修する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止にし、職員で日本語及び各教科の指導内容の検討を行うとともに、評価方法について学びあい、生徒個票に反映できるようにした。

【12月】

・先進校視察 全国夜間中学校研究大会に参加予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のために中止になった。

【1月】

・職員研修 岸和田市立岸城中学校を訪問し、形式卒業者や日本語指導について研修する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のために中止になった。

・総括会議 最終的な個々の生徒の学習状況についての情報共有を図り、次年度の課題について協議した。スクールソーシャルワーカーにより1年間の様子をまとめていただいた。

・文集作成 1年間の学習の成果をまとめた文集を作成した。